

# Local Life

奈良県南部・東部に移住した人々の声、集めました。

 Nara  
Okuyamato

おくやまと  
奈良・奥大和で見つけた

生き方・働き方



自分たちの手で  
生活を豊かにしたくて。

Higashi Yoshino



朝起きて窓を開けた時の  
爽快感は素晴らしいです！

# Creative Village

東吉野村発

## クリエイティブ・ヴィレッジ はじまります。

奈良県の「おくやまと奥大和」と呼ばれるエリアは、

山岳地帯である南部と、高原が広がる東部から成り、  
観光地・奈良のイメージとはまた違う自然豊かな場所。  
大地に足を付け、自分の手を動かす暮らしがしたいと、

この地へ移り住んで来る人が続々と増加中。  
まずは、東吉野村の新しい動きをレポートします。

FEATURE



福井さん夫妻が住む家は、坂本さん(P4)のお父様の元アトリエ。木が大胆に使用される開放的な空間

奈良県東吉野村は、吉野山の東に位置し、三重県に接する山間部。村の面積の約96%が山林である…と、聞くときく奥地のように思えるが、実は大阪まで1時間半とアクセスは悪くない。それでも、まだまだ広く知られていない分、美しい自然や素朴な人情が残るあたたかい村だ。

ここに、最近2組の家族が引っ越してきた。皆、デザインやファッション業界で働く、クリエイティブな面々。距離的なハンデが少ない職が増え、仕事を求めて都会に出るのが当たり前の時代ではなくなりつつある。そんな今、彼らのように、むしろよりよい暮らしがしたい仕事、いい人生につながると考えるのも当然のことだろう。奥大和の新しいムーブメント、今後も注目です。

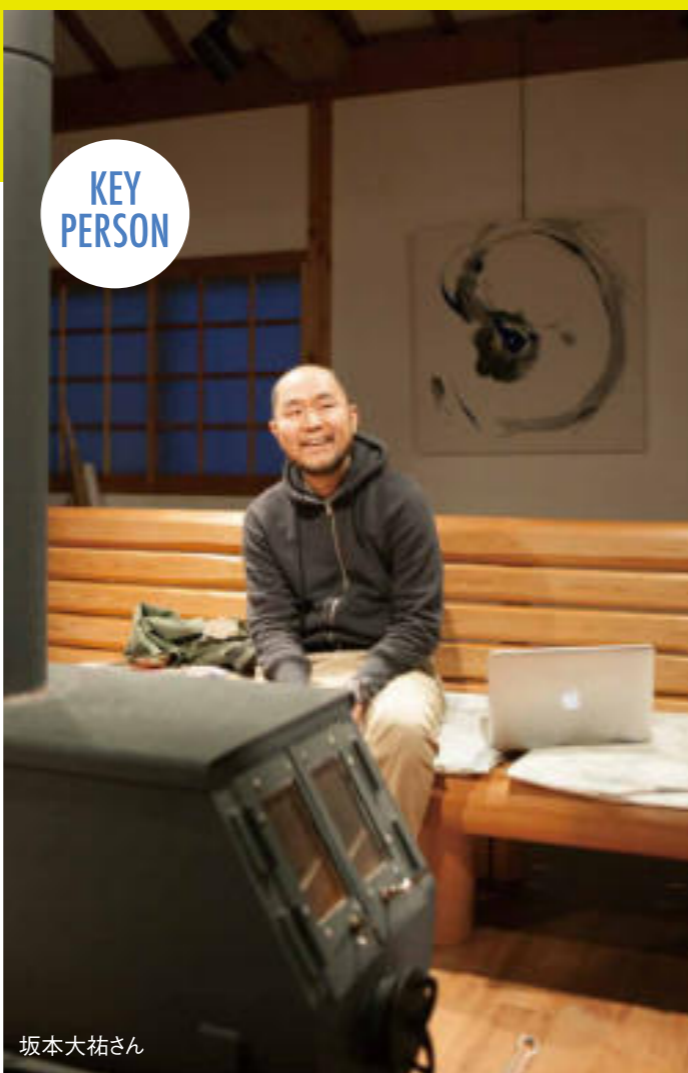


村を流れる清流は村人たちの誇り。渓流釣りをしたり木工をしたりと、自然遊びには事欠かない

### 自分にしかできない仕事にシフトできた。

前ページの菅野家&福井家を、東吉野村に呼び寄せたのがデザイナーの坂本さん。7年前、働き過ぎて身体を壊したのを機に、ご両親が先に移住していたこの地に引っ越して来た。仕事の量は減ったが、やりがいのある仕事だけが残り、生活の質も向上したという。実は坂本さんにとって、東吉野村は中学生の頃、山村留学をしたことのある第2の故郷。「弟と2人で川へ飛び込んだり、釣りをしたりして遊んでいた」という、鮮烈な記憶が今につながっているのだそう。

### KEY PERSON



坂本大祐さん

**Q** 移住して大変だったことはありますか？  
**A** クライアントの元に出向くのに時間がかかることが現在も大きな悩み。今後は、お招きできる拠点を設けたいと思っています。

**Q** 奈良に対して住む前と印象は変わりましたか？  
**A** 住む前は特徴が少ない県だと思っ  
ていましたが、住んでみると、歴史の  
深さや、土地の豊かさがしみじみ伝  
わり奥ゆかしい魅力を感じていま  
す。

**Q** 奈良に移住を考えている方に  
メッセージをお願いします。  
**A** メッセージをお願いします。

**Q** 地域コミュニティを受け入れても  
らうことは、頑張らず、迎合しすぎず、自  
然体でいることが大切だと思います。

# Creative Village

### 子どもが産まれたのもひとつのきっかけです。

2013年の冬、大阪府堺市から東吉野村へ引っ越して来た菅野さん家。坂本さん(P4)を訪ねて何度か遊びに来るうちに、移住を考え始めたという。息子さんの誕生もきっかけになったのだとか。雑貨の商品企画・販売を手がける大門さんは、まだ仕事スタイルの移行にとまどいもあるようだが、「慣れれば問題ないと思います。最低限のインフラが整いつつ、綺麗な水と空気が味わえ、山や川、星空が見え、静かなところが気に入っています。」と話してくれた。

**Q** 引っ越したばかりですが、大変なことはありませんか？  
**A** 買い物や病院へ行くのに時間がかかることです。買い物はネットスーパーのおかげで快適になりました！

**Q** どうやって家を探しましたか？  
**A** 色々な条件に合う物件が見つからなかったのですが、ある日、村の空き家バンクに登録された物件を、先に移住していた坂本さんに教えてもらいました。

**Q** 奈良に移住を考えている方にメッセージをお願いします。  
**A** 少しずつ行ったり来たりしながら、時間をかけて移住を考えることをお勧めします。気になる場所があれば、ぜひ足を運んでその土地の良さを肌で感じてください。



菅野大門さん  
眞理奈さん  
間太くん

### 創作に影響を受けるものが変わりました。

福井さん夫妻も、坂本さん(P4)つながりで、2013年の夏に東吉野村へ移住を決めた1組。「どうしても田舎に住みたいというわけではなかったけれど、人の「縁で」と、軽やかに生活を楽しんでいる。守さんはプロダクト、友香さんは服飾のデザイナー。「ここでは、刺激を受けるのは人工物ではなく自然。作品は、自分が自然な状態に戻った後に出てくるもの」と友香さん。守さんも、趣味で始めていた木工の作業場を持ち、活動範囲を広げていくつもりだそう。



秋田友香さん  
福井 守さん

**Q** 移住する前と変わったことは？  
**A** 人間らしくなりました。

**Q** 1日のタイムスケジュールは、例えばどんな感じですか？  
**A**

7:30	起床、散歩、朝食
9:00	各自仕事 (イメージづくりやデザインなど頭を動かす作業)
12:00	昼食
13:00	各自仕事(手を動かす作業) どこかでラジオ体操
19:00	夕食
0:00	就寝

**Q** 奈良に移住を考えている方にメッセージをお願いします。  
**A** 一緒に楽しみたいです。

### クリエイティブ・ヴィレッジProject

今、東吉野村で企画が進行中の「クリエイティブ・ヴィレッジ」とはなんぞや？ それは、高齢化や産業の衰退により、元気を失いかけていた東吉野村を、クリエイティブな若者と呼んで盛り上げよう！というプロジェクト。坂本さんとその後続く2組が移住してきた時、真っ先に会って話を聞いたのは水本村長だったという。「どんな思いで来てくれたか聞きたかった。赤ちゃんを連れて来てくれたことが嬉しくて



ね。空き家バンクも活用してくれて。ネットの仕事やフリーランスなど、場所を選ばず働ける人に来てもらいたいという思いは、これまでからずっとあった。それが今やつと形になり始めている。住まいの提供、インフラの整備など全面的に応援したい」と意欲的だ。それにしても、村長と直接話せるなんて珍しくないですか？という問いに、「田舎やらねえ」と笑顔で答えてくれた。

### 村長はりきってます！



東吉野村長 水本 実さん

### シェアオフィス、もうすぐ完成。

ただ今、役場のそばの空き家を利用して、シェアオフィスを整備中(写真上・村長の後ろに写っている建物)。目の前を川が流れ、緑に囲まれた環境で仕事してみませんか？詳細は榎本さんまで。

### 困った時は、榎本さん

東吉野村役場 ワンストップ窓口

色々な手続きや暮らしのあれこれ、移住したての頃は聞きたいことがいっぱい。そんな時に、隣人のように気軽に聞ける人がいれば...ということで、役場の窓口を一本化！ TEL0746・42・0441





街ではできないことを  
毎週のようにしています。

松田麻由子さん

奈良  
大和郡山市

宇陀市  
Uda-Shi



▲建物が持つ魅力を活かして改装した

いなさゆうと  
★伊那佐郵便

築80年の旧郵便局を活用したまちづくりの拠点。事業の中心である日替わりシェフレストランは、大和高原の食・農・人がつながる場。

☎080-4494-2278(代表:松田)  
〒宇陀市橋原比布1312  
営業11時~17時 ※変動あり  
休不定



▲初めは可愛い建物を残したいという素朴な気持ちだったのだそう



▶レトロな雰囲気にファン多し。ランチスケジュールはHPに掲載

▶世界各国の料理が味わえる



庭でバーベキューをしたり、プールをしたり(井戸水のため水道代がタダ)、雪の日は雪遊びをしたり…。田舎で子育てするために移住を決めたという松田さん。「裏山に行けば、春はふきのとう、たけのこ、野いちご、地に足を付けて暮らしていると感じます」と、自然と共にある暮らしに満足している様子。ネット関係の仕事をしていたため、仕事はいつでもできるという思いが強かったのだとか。現在は、地域活性化に忙しい日々だ。

- Q 移住する前と変わったことは?
- A 外食や、外に出て遊ぶということがなくなりまして。街に住んでいた時は、週末ごとに大きなショッピングセンターに出かけていましたが、ほとんど行くことがなくなりました。自宅で遊んでいるほうが楽しいからです。
- Q 移住して大変だったことはありますか?
- A 村の付き合いが大変ですが、事前にある程度聞いていたので、大きなトラブルはありませんでした。
- Q 奈良に移住を考えている方にメッセージをお願いします。
- A 奈良の魅力は変わらないところにあります。日本の原風景が残る場所もたくさん。四季を感じ、自然に寄り添い暮らすことは、子どもたちの感性を豊かにし、同時にそばにいる大人たちも豊かな生活になっていきます。金銭では得ることができない暮らしが奈良にはあると思います。
- Q 移住者の心構えはありますか?
- A 絶対あります! あいさつは大事。子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで、積極的に話して距離を縮めて安心してもらうことですね。
- Q 奈良に移住を考えている方にメッセージをお願いします。
- A 自然に触れたり、神事に参加してみたり、移住する前にどんだん足を運んで欲しい。ぜひとも天川へ!



来なきや始まらない。  
環境が一番大事です。

山本晋也さん  
紀子さん  
実弥ちゃん

オーストラリア

天川村  
Tenkawa-Mura

- Q お店の営業時間以外は、何をしていますか?
- A 家の近くに畑を借りているので、日が長い季節はお店が終わってから畑仕事をしています。休みの日は、天川村だけではなく、五條市や明日香村まで出向き、農家や他の移住者の方とつながりを作っています。
- Q 移住者の心構えはありますか?
- A 絶対あります! あいさつは大事。子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで、積極的に話して距離を縮めて安心してもらうことですね。
- Q 奈良に移住を考えている方にメッセージをお願いします。
- A 自然に触れたり、神事に参加してみたり、移住する前にどんだん足を運んで欲しい。ぜひとも天川へ!

6年間のオーストラリア生活の後、新天地に天川村を選んだ山本さん一家。知り合いを通じて、天河大辨財天社の特別開催の時に来たのがきっかけなのだそう。「ここに移り住むことにより、何かが開けると思った」という晋也さんは、まさに直感タイプ。京都の有名料亭出身の料理人であり、今は空き店舗を利用してカフェを営む。「住むと決めたら、後はご縁にありがたみを感じながら流れに任せる感じ。ここで店をさせてもらっているのも感謝の「三つ葉」。



▲元々あった建物を小物でアレンジ

おとり  
★Oh Tree

弁天さんのすぐ近くにあり、定食やうどんといったランチ、手捏ねパン、手作りスイーツなどが味わえる。ゆったり流れる時間も魅力。

☎090-4949-4124  
〒吉野郡天川村大字坪内240-1  
営業11時~17時(L016時30分)  
休火・金



▲自家製うめジュース&柚子のパウンドケーキ



▲まめ茶や梅ぼし、味噌などはすべて手作り

山本さんが天川村に来るきっかけとなった場所。

てんかわだいべんざいてんしゃ  
天河大辨財天社

芸能の神様として全国的に有名。境内は清浄な空気に包まれ、「すぐく日本を感じられます」と山本さん。





安田真治さん  
頼子さん



2人が目指してきた  
生活ができています。

奈良  
葛城市

曾爾村  
Soni-Mura

**Q** 奈良に移住を考えている方にメッセージをお願いします。  
**A** 住みたいという気持ちがあれば、体力のことを考え、出来るだけ早く移住する方がいいと思います。

**Q** 移住して大変だったことはありますか？  
**A** 広い敷地の草引き、鹿対策などの仕事量の多さ、それから冠婚葬祭など行事の多さでしょうか。

**Q** 1日のタイムスケジュールは、例えばどんな感じですか？  
**A** 朝の散歩  
花の水やり  
草木の手入れ  
ギャラリーで仕事(陶芸)  
夕方、犬と素晴らしい景色の中散歩！

中学生の頃に曾爾高原に登り、景色と涼しさに魅了されたという頼子さん。ある日、ご主人と終の棲家を語り合い、ご主人は野菜づくり、ご自身は陶芸に打ち込める、そんな生活に向かって計画、準備を進めたという。縁あって、16年前に大好きな曾爾村に定住、工房やギャラリーも開いた。「四季折々の景色、美味しい空気、豊かな水、本当に日々贅沢な生活に満足しています」。そんなシンプルな幸せが、作品にもにじみ出ている。

▼ 兜岳と鐘岳の裾野に広がる曾爾高原はスキで有名



▲食卓を彩る食器の数々や、花器、山野草鉢など日常使いできる品がずらり並び

★ギャラリー曾爾

2011年オープン。釉薬や顔料を使わず土の味を残した焼き締めをはじめ、化粧、織部、黄瀬戸、椿絵柄など、さまざまな作品がそろう。  
☎0745-96-2188  
〒宇陀郡曾爾村今井1124  
開9時~18時  
休水・木  
※工房では陶芸体験もできる(要予約)



大阪

御杖村  
Mitsue-Mura

竹中練一さん  
伸子さん



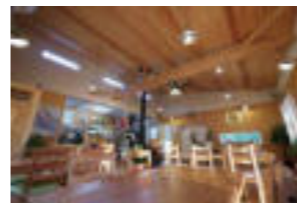
人生、一度きり。  
好きなことを始めよう。

**Q** 奈良に移住を考えている方にメッセージをお願いします。  
**A** 夏はクーラー要らずなんですけど、冬の燃料費が予想外にかかります。また、運転免許は必需品です。別荘地の場合、村営バスはほとんど通りません。しかし、不便な生活もいもんだと、何でも気楽に考えると結構楽しいかも。

**Q** 奈良に対して住む前と印象は変わりましたか？  
**A** 変わっていません。素晴らしいところだと思えます。都会からの移住者に対して閉鎖的な傾向がある気はしますが、ふとこころに飛び込んでしまうと、親切な方が多いです。

**Q** 移住してよかったことは？  
**A** 気持的にも身体的にもスロウライフを楽しめるようになったことですね。月明かりで本当に明るいです。降るような星空で本当に涼しいんですよ。そんな発見は数えあげればきりがありません。たまに大阪に行くけど、空気が汚いなくと思います。

大阪でイベント制作会社を経営し、ほとんど夜中まで仕事をしていたという竹中さん夫妻。13年前、御杖村に別荘を購入し、「老後は田舎暮らしを」と話していましたが、少し早めにやりたいことをやるう」と、定住を決意。自分の手で何かを創り出すことに憧れていた練一さんが選んだのはピザ職人だった。お店を開いて約9ヶ月。村の子どもからお年寄りまで、着実にレノンのピザのファンが増えている模様。



◀木の温もりを大切に地元の大工さんに建ててもらった

▶イタリア産チーズとトマトソースに地場産野菜を合わせる

★Pizzeria e Trattoria  
レノン  
renone

退職後、本場ナポリで修業を積み、帰国後は日本の環境に合った製法を追求。地域に根ざした店を目指す。  
☎0745-95-3303  
〒宇陀郡御杖村神末168  
開11時~18時  
休月・火曜(祝日は営業)



▲イタリア製の窯は御杖村の気候にそぐわないと、特注した国産の窯で、一枚ずつ丁寧に焼き上げる





本田昭彦さん

ダム湖の流木を使って造ったのが始まりでした。

埼玉

下北山村 Shimokitayama-Mura



▶自然木一枚板や流木を使った美しくシンプルな家具の数々



◀「子どもができてお付き合いの幅も広がりました」

★本田木材工作所

のどかな下北山村のさらに隠れ里にある工房。自分でできることは自分でやって安く提供したいと、大きな機械も少しずつ導入した。

☎090-7029-1170 埼玉県下北山村池峰227-3 営業9時~17時 休不定

田舎暮らしに憧れていた本田さんは、結婚を機に奥様の故郷である下北山村へ。山深い下北山村には大きなダムがあり、そこでアルバイトをしていた際に見つけた流木をきっかけに、独学で木工をスタート。今ではオーダー家具から木工素材の販売まで、木の仕事を幅広く手がける。「仕事で出た木端を、家の暖炉や風呂にも使えていいですよ」と、暮らしも木と共に。

Q 奈良に移住を考えている方にメッセージをお願いします。
A どこに移住するにしても、その地域の情報を正確に知ることが大事かと思えます。後は自身の適応しようとする努力と気持ち次第かと思えます。

Q 移住して大変だったことはありますか？
A 関東にいるときは割と地方に無関心でしたが、こちらに来ることで地方ならではの良さ、魅力を再発見し、また他の県にも以前以上に興味を持ち、視野が格段に広がった気がします。

Q 奈良に移住を考えている方にメッセージをお願いします。
A 実際どこに住んでも同じだと思っただ方がいいです。どんな所でもやっていける人なら、自分が望む新しい地で有意義な時間を過ごせる気がします。



◀可愛い羊がのんびり暮らすめえめえ牧場。入場無料でファミリーに人気



▲めえめえ牧場のある神野山には、鍋倉溪など山添村の歴史を物語る見どころが点在

★自転車工房「山伏」

スポルティーフのフレーム制作を主に、完全オーダーメイド。依頼者と話し合い、一つ一つ丁寧に制作するため数カ月待ちもしばしば。修理の相談にも乗ってもらえる。興味がある人はまずはお電話を。

☎0743-87-0965



自分が考えていたことを実現できる場に出会えた。

大学時代から自転車一筋。卒業後は東京の製作所で修業し、いつかは自分の工房をと考えていた。一方、ご夫妻共に田舎で子育てをとの思いがあり、ネットで見つけた山添村へ移住を決意。36歳の時だった。住居も村から用意してもらえたという。今は、めえめえ牧場の運営に携わりながら、作りたい自転車を作る日々。「牧場の仕事は畑違いかと思っていました。今度そこにMTBのコースを作ることになって。山添村という場のおかげですね」。

神奈川

山添村 Yamazoe-Mura



竹内弘昭さん



自然の中で農作業や子育てができて幸せです！



恵良さん  
たかしさん  
容子さん

大阪

明日香村  
Asuka-Mura

脱サラをして農家に転身した恵良さん夫妻。自然農法を実践するため、ゴルフ場がなく農薬の心配が少ない明日香村に移住を決めた。土地柄、地域になじむのに苦労したそうだが、「移住組や他県からお嫁に来た人もいるので楽しい」と前向き。「採れたての野菜や自分でしとめた猪を自分で造った囲炉裏で焼いて調理して食べることが、この上なく贅沢で楽しいことと思えます」。今では都会に行っても物足りなく感じるのだそう。

**Q** どうやって家を探しましたか？  
**A** すぐに物件は見つかりましたか？

**A** 知らない人には家を貸さない、売らないという風潮ですので、まずは人脈をつくりました。1年かかりましたが、知り合いから今の家を紹介してもらいました。

**Q** 移住して大変だったことはありますか？

**A** 家を自分でリフォームしている時、同時に畑も稲作もしていたため、7キ口痩せて、チ樫みたいな体型になりました(笑)。とにかく自分の家の完成を目指して「心不乱」でした。

**Q** 奈良に移住を考えている方にメッセージをお願いします。

**A** 奈良はとても歴史があり、開発されすぎていない分、素敵な場所がたくさんあります。世界有数の水も湧いていますし、良いところですよ。移住する前にしっかりと目標と計画を立てて、貯金もしっかりして実行してください！！

▶ 恵良さん宅からは遠く葛城山、金剛山を見渡せる



▶ 築150年の古民家を改装した「とまりゃんせ」。庭でBBQをすることも

★農家民宿「ゆるりや」  
★農家民宿「とまりゃんせ」

田舎暮らしを体験できる「ゆるりや」では、農園で採れた野菜をたっぷり使った料理を。「とまりゃんせ」は飛鳥駅近くで素泊まり対応。

☎0744-54-2516 / ☎090-7103-6342  
「ゆるりや」〒奈良県高市郡明日香村入谷665  
「とまりゃんせ」〒奈良県高市郡明日香村真弓1526

58歳で早期退職し、住み慣れた三田ニュータウンから御杖村へ移住した白木さん夫妻。退職する2年前からドライブついでに候補地をめぐり、山好きの康夫さんが若い頃登山に通ったこの地に決めた。移住後は、自然の食材で佃煮やジャムを作ったり、屋外で過ごすことも多く、あまりテレビを見なくなったのだとか。「夏の雑草刈りや冬の寒さなど大変ですが、自然に身を置くものとして常に健康を心がけています」と心も体も元気がいい。

▼ 霧水で有名な三峰山の近く。お客さんと一緒に登山することも多い



**Q** 移住してよかったことは？

**A** 季節の移り変わりがはっきりとわかり楽しめること。山なので静寂で空気や水がおいしく、ことのほか春は山菜が良くとれ、食することで全身に自然の恵みを受けられること。山野草もいっぱい見つけました。

**Q** 奈良に対して住む前と印象は変わりましたか？

**A** それほど変わりません。別荘地に住んでいるため地元との交流が少ないので、地域会合など参加できるものには首を突っ込んでいます。

**Q** 奈良に移住を考えている方にメッセージをお願いします。

**A** 山の中は静かで空気や水がとてもきれいです。スローライフを楽しみたい方にはいい所かもしれませんが、のんびり過ぎかもしれません。

★ログハウス ほらのもり

山小屋のような雰囲気を楽しめる1日1組限定の宿。近くの奥香落溪温泉から引いた湯を薪で焚くお風呂が自慢。

☎0745-95-2951  
〒宇陀郡御杖村神末5051-138  
※不定(予約制)



▲ 春夏はテラスでバーベキュー、秋冬は手作り味噌のポタン鍋を！

兵庫

御杖村  
Mitsue-Mura

温泉とログハウス。  
2つの願いが叶いました。



白木康夫さん  
真澄さん  
空(くう)

下北山村地域おこし協力隊「サポートきなり」  
 渡部みなみさん(左)  
 牧 絢さん(中)  
 工藤延春さん(右)



▲ある夏の日の収穫

下北山村  
 Shimokitayama-Mura

知識で持っていたことを  
 実際に体験しています！

★下北山村の土曜朝市

3人が企画運営！新鮮な下北山村産の野菜、味噌や鮎の甘露煮、お箸、まな板などを販売。きなりの郷スポーツ公園入口にて毎週土曜開催。  
 ☎07468-6-0770(「サポートきなり」事務局)  
 福吉野郡下北山村上池原1026  
 毎週9時30分〜

▼毎日朝一で圃場に向かい、昼休憩を挟んで夕方まで農作業をしている工藤さん



**Q** 移住して大変だったことはありますか？  
**A** 始めの頃は、小さな村なので、新参者はいとも見られていたような気がしましたが、捉え方を変えて、見守ってもらっている、注目され、期待されていると感じていました。

**Q** 奈良に移住を考えている方にメッセージをお願いします。  
**A** 大きな経済の中で仕事が多分化され、社会の中で自分の役割が実感しにくくなった現代において、村という小さな単位の暮らしを見直し、その技と知恵が詰まった手作りの生活に身を置くことで得られる「そこにある幸せ」を、是非見付けに来てほしいと思います。

**Q** 移住してよかったことは？  
**A** 空気が水がきれいなところで農業ができること。時間に追われる生活から解放されたこと。

**Q** 奈良に移住を考えている方にメッセージをお願いします。  
**A** 古くて新しい奈良。懐かしい未来に近い、そんな場所に住んでみませんか。

宇陀市の山口農園で有機農業の職業訓練を終えた渡部さんと工藤さん。大学で地域福祉を学び、就職先を探していた牧さん。3人が地域おこし協力隊として移住したのが下北山村だ。「山間地ゆえ、村の皆さんは何でも自分でできるし、加工食品も手作りです。それが特別なことではなく日常なんです。そんな風土の中で暮らせることが気持ちいい」と渡部さん。村を盛り上げる仕事をしながら、それぞれ自分理想とする生活にも前進中だ。

**Q** 移住してよかったことは？  
**A** 村に住む方が、野菜、味噌、コンニャク、漬物、果実ジュース等、なんでも手作りされている生活に触れて、旬の野菜を知り、食や暮らしについて考えるようになりました。

**Q** 奈良に移住を考えている方にメッセージをお願いします。  
**A** 自然に囲まれた環境で、人とのつながりの暖かさを実感します。ぜひ一度お越しください。

**Q** 移住してよかったことは？  
**A** 村に住む方が、野菜、味噌、コンニャク、漬物、果実ジュース等、なんでも手作りされている生活に触れて、旬の野菜を知り、食や暮らしについて考えるようになりました。



梶谷哲也さん

◀面積の97%が森林である黒滝村は吉野林業の中心地の1つ

▶木を使って何か作れないかと始めたチェンソーアートはインストラクターの腕前



梶谷さんが講師を務める吉野チェンソーアートスクール

丸太をチェンソーで削って、ふくろうやいぬなどを作る講習会。初心者向けにアレンジしてあるのでチャレンジ！見学も自由。

★吉野チェンソーアートスクール事務局  
 ☎0746-32-8129

**Q** 奈良に移住を考えている方にメッセージをお願いします。  
**A** 奈良県は北部と南部で大きく違うので、観光地ではないエリアの情報もしっかりと調べるのが大事だと思います。

**Q** 移住して大変だったことはありますか？  
**A** 自然災害です。東京にいた頃は台風や大雪でも電車が止まる程度でしたが、こちらでは電気や水道が止まってしまうこともあるので、いつそうなるかもしれないように準備をしています。

**Q** 奈良に対して住む前と印象は変わりましたか？  
**A** 以前は大仏、鹿、飛鳥など一般的なイメージでした。現在は、木材の供給を通して各地域につながりを持っている吉野という山深い重厚な土台を知り、奈良をより立体的に捉えることができるようになりました。

東京  
 黒滝村  
 Kurotaki-Mura



▶「作品を見て少しでも森林に興味を持ってもらえれば」と梶谷さん

黒滝村で「山いき」(吉野地域では山で働く人のことをこう呼ぶ)をしていく梶谷さん。東京の住宅街で育ったため、田舎暮らしに強い憧れがあり、大学卒業と同時に林業の本場へ入って来た。森林組合の職員として山の手入れをしに来た若者を、職場の人をはじめ村人たちは温かく迎えてくれたという。「体は疲れますがストレスはないですね。残業もなく、子どもと過ごす時間も多いですよ」。自然の中で生きることはとてもシンプルだ。



よく動き、よく食べよく眠る生活です。



おくやまと  
奈良・奥大和って  
どんなところ？

人口が集中する北西部の奈良盆地に比べ、  
広～い面積にポツポツと集落がある奥大和。  
近畿最高峰を含む山々や、冷涼な高原、  
川沿いに湧く温泉など、美しい自然が広がる。  
そして、奈良を語る上でははずせないのが歴史。  
長い時を越えて受け継がれてきた文化が、  
暮らしの風景に奥行きを与えてくれる。  
奈良・奥大和で、幸せな生き方・働き方が  
たくさん実現しますように。

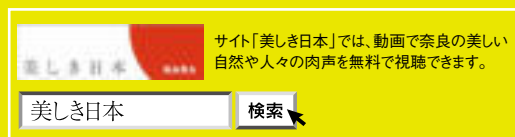


Local Life  
in Nara  
Okuyamato



Information 奈良に暮らす

<http://www.okuyamato.pref.nara.jp/iju/>



このパンフレットに掲載している情報は、特に表記がない場合、2014年3月時点の有効な情報です。情報は変更となる場合がございますので、最新の情報や詳細については各施設へお問い合わせください。本媒体の掲載金額は、消費税8%を含む総額表記です。

心の豊かさを求める人に提供できるものがある。

奈良県南部・東部は、30年後に人口が半分になると言われても、あまり危機感もないエリアなんです。そののんびりしたところが良いところなのですが、知ってもらえないと始まりません。今は、都会でなければ働けない時代ではなくなっている。暮らしよいところを求めて移動していったときに、奥大和に

は価値があると思っています。もし、移住を考えているなら、まずは奥大和に来ていただき、今回紹介した移住経験者のお店やお宿などを訪ねてみるのもオススメです。みなさん、イイ笑顔をさせてるでしょ。県では、情報発信、そして市町村の受け入れ体制の支援に力を入れていきます。



奈良県 南部東部振興監 辻本浩司